



sangetsu

証券コード 8130

第73期  
中間報告書

2024年4月1日~9月30日



## Top Message 株主の皆さまへ

# 成長戦略を加速し、 経済価値の拡大と社会価値の創出を実現

代表取締役 社長執行役員 近藤 康正

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

サンゲツグループ第73期中間報告書をご高覧いただくにあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高938億円、営業利益73億円、親会社株主に帰属する中間純利益は49億円となりました。厳しい市場環境が続く中、中核事業における戦略的な営業活動に努めた結果、売上高は前年同期比で増加しました。その一方、仕入コストの上昇や物流費・人件費の増加に加え、将来の成長に向けた先行投資により営業利益は減少しました。今後、これらの投資を着実に利益に結び付け、中期経営計画に掲げる目標の達成を目指してまいります。株主さまへの還元につきましては、株主還元方針を勘案し、中間配当金は75円/株とさせていただきます。

今年度は、中期経営計画【BX 2025】および長期ビジョン【DESIGN 2030】の折り返しの年度となります。この重要な局面で社長を拝命した私のミッションは、「変革と成長」を推進し、スペースクリエーション企業への転換に向け、2つの成長戦略である、「中核事業の深化・変革」と「新規事業の探

索・創出」を実現することであると認識しております。

企業が成長するためには、自社の強みをいかし、一段と強化するとともに、新たな強みを身に付けていくことが必須です。私が考える当社グループの強みは、「企業ブランド」、「商品企画・開発力」、「販売ネットワーク」、「財務基盤」、そして、「ヒト(社員)」の5つです。とりわけ根源的な強みは「ヒト」であり、他4つの強みも「ヒト」があって成り立つものです。当社グループは人的資本の強化を最優先事項と位置付け、人材育成や社員の能力・意欲を最大限に引き出す環境の整備に注力し、社員一人ひとりが自由闊達に意見・提案を言える風通しの良い企業風土を醸成していきます。

また、企業活動を通じた社会価値の創出・拡大にも、強い覚悟をもって臨む所存です。今年1月に策定した企業理念に掲げる「すべての人と共に、やすらぎと希望にみちた空間を創造する。」というPurpose(存在意義)のもと、当社グループならではの企業活動により、社会課題の解決と社会貢献に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

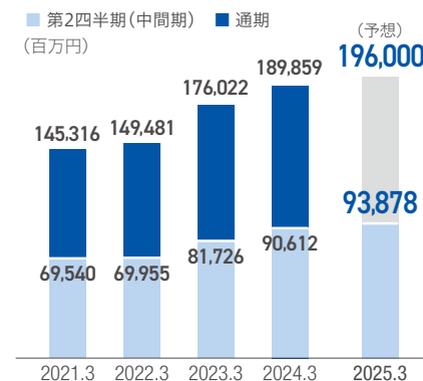
## 事業概況 (2025年3月期 中間連結会計期間)

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算の詳細については、下記よりご覧いただけます。  
[https://www.sangetsu.co.jp/company/ir/library/briefing\\_report.html](https://www.sangetsu.co.jp/company/ir/library/briefing_report.html)



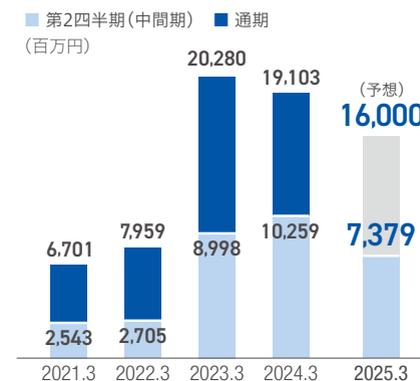
売上高  
**938億78**百万円

前年同期比 **3.6%**増



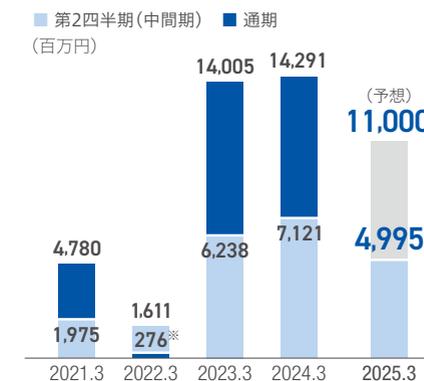
営業利益  
**73億79**百万円

前年同期比 **28.1%**減



親会社株主に帰属する  
中間(当期)純利益  
**49億95**百万円

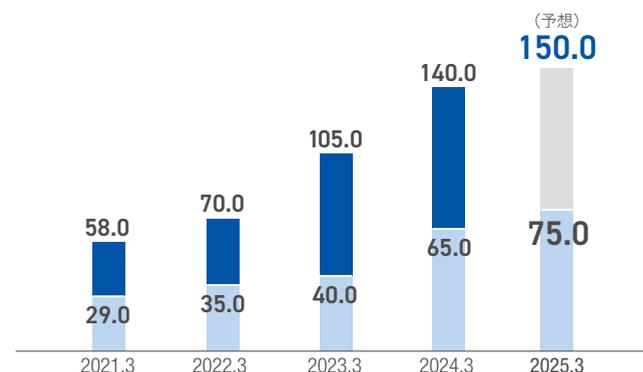
前年同期比 **29.9%**減



2022年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。  
 ※2022年3月期決算時に実施した米国 Koroseal 社関連ののれん・無形資産の減損および商標権の減損等により、通期での親会社株主に帰属する当期純利益は中間期よりも減少しました。

## 1株当たり 配当金と配当性向

■ 第2四半期(中間期) ■ 通期 (円)



## 2025年3月期 通期連結業績予想 (%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	<b>1,960</b> 億円 (+3.2%)	<b>160</b> 億円 (△16.2%)	<b>165</b> 億円 (△16.2%)	<b>110</b> 億円 (△23.0%)

5月10日に公表されている業績予想からの修正はありません。

## 中期経営計画(2023-2025)【BX 2025】 経済的価値における最終年度目標

2026年3月期	
・連結売上高	1,950 億円
・連結営業利益	205 億円
・連結当期純利益	145 億円
・ROE	14.0%
・ROIC	14.0%
・CCC*	65日

\*CCC: Cash Conversion Cycle

## セグメント別業績

### セグメント別売上構成比



### 国内インテリアセグメント

売上高：77,810百万円(前年同期比 +1.9%)

営業利益：8,008百万円(前年同期比 △22.3%)

#### 国内インテリアユニット別売上高

壁装ユニット … 37,768百万円    ファブリックユニット … 4,466百万円  
 床材ユニット … 27,736百万円    施工およびその他 … 7,838百万円

国内建設市場における厳しい状況が続く中、従来から進めている「中型商品※」の拡販等、戦略的な営業活動に注力しました。また、拠点間輸送をはじめとする地域別でのきめ細かな配送・品質管理体制の構築や、事業部門やグループ会社と連携した空間総合提案を積極化するなど、地域・顧客に応じて各種機能を適切に組み合わせ提案する、ソリューション提供の拡大・展開を進めたことで、売上高は前年同期比で増加しました。

※シェアの拡大余地が大きい、もしくは市場の拡大が見込める戦略商品

### ソリューション力の強化・拡充に向けた取り組み

#### • 壁紙の持続的な安定供給を目指す「クリアネイト東広島新工場」が竣工

当社グループ会社のクリアネイトは、増加する量産壁紙需要に対応するため、2025年秋の稼働を目指し、東広島新工場の開設準備を進めています。品質向上と持続的な安定供給を実現するとともに、環境負荷の低減や労務環境の整備も進めています。

#### • 「物流効率化に向けた先進的な実証事業」への採択

2024年6月、当社は経済産業省が主導する「物流効率化に向けた先進的な実証事業※(以下、当該事業)」の補助事業者に採択されました。

当社が取り扱う壁紙等の内装材は、商品の仕様上、特殊な荷姿で運搬を行う必要があり、輸送効率が低いことが課題となっています。当社は、当該事業に参加し、この課題解決に向けた新たなシステムを導入することで、持続可能なサプライチェーンの実現を目指していきます。

※物流効率化のための設備投資の支援を通じて、荷主事業者や物流事業者にもたらされる投資効果を明らかにする事業



クリアネイト東広島新工場

### 国内エクステリアセグメント

売上高：3,139百万円(前年同期比 △2.4%)    営業利益：△40百万円(前年同期は営業利益 110百万円)

新設住宅着工戸数の低迷等により、エクステリア市場全体が低調に推移する中、当社グループ会社のサングリーンにおいては、地理的拡大戦略により新設した関東2支店の売上高が計画以上に進捗しました。一方、成長戦略に基づく専門人材の拡充などの先行投資を進めたことで、セグメント損益はマイナスとなりました。外構の空間設計・施工を含めた提案や、エクステリア・インテリアの一体型提案など、従来の商品販売以外の業容拡大に向けて、体制整備およびグループ内での連携を推進していきます。



外構の空間設計・施工を手掛けたサングリーン津支店新社屋

### 海外セグメント

売上高：12,938百万円(前年同期比 +16.9%)    営業利益：△589百万円(前年同期は営業損失 157百万円)

#### • 北米

自社製造壁紙の販売価格改定効果などもあり、為替換算の影響を除いた現地通貨ベースでも売上高が増加しました。また、利益面でも販売価格改定や製造ロス率の改善が奏功し、営業利益は黒字を継続しています。

#### • 東南アジア

営業組織の改編や空間総合提案・施工機能強化に向けたデザイン部門の設置など、国別の状況にあわせた基盤強化を進めました。また、2024年7月からは、シンガポールを中心に空間デザイン・総合施工を展開するD'Perception社がグループ会社に加わり、地域特性に応じた総合サービス力の向上と事業間のシナジー効果による業績改善を図っていきます。

#### • 中国・香港

不動産開発市場の低迷などを背景に、引き続き厳しい状況が継続しました。こうした中、顧客・販路の拡大や展示会への出展といった営業活動の積極化、現地デザイナーの採用による空間総合提案機能の強化に努めました。

これらの結果、海外セグメントにおける売上高は前年同期比で増加したものの、D'Perception社の株式取得に関する一時的費用の計上等により、営業赤字は拡大しました。



D'Perception社の施工事例

## TOPICS

### 「誰もが明日の夢を語れる世界」の実現に向けた取り組みを推進

サンゲツグループは、企業活動を通じてさらなる経済価値および社会価値を創出することを目指し、2024年1月に企業理念を刷新しました。この企業理念の実践に向けて、事業活動・社会活動両面での取り組みを推進しています。

#### 「HERALBONY Art Prize 2024」に協賛し、sangetsu賞を決定

2024年7月、株式会社ヘラルボニー\*が主催し、当社がゴールドスポンサーを務める「HERALBONY Art Prize 2024」にて、企業賞である「sangetsu賞」を決定しました。

当社は、従来から商品開発においてヘラルボニーとのコラボレーションを行っていましたが、このたび、「世界中の障害のある表現者を対象に、一人ひとりの作家としての才能を評価し、さらなる活躍の機会を生み出すこと」を目的とした当アワードの趣旨に賛同し、協賛に至りました。

※株式会社ヘラルボニー…「異彩を、放て。」をミッションに掲げ異彩作家とともに、新しい文化をつくる企業



授賞式の様子



sangetsu賞「お城」(作家：大塚 美咲さん)

#### 社会課題解決に向けた商品ラインアップを強化

2024年9月、低環境負荷商品の拡充の一環として、独自のリサイクル糸を使用した遮光カーテンを新たに発売しました。廃番となった未使用の当社カーテン生地を粉砕し、ワタに戻してから再び紡績した糸を新しいカーテンに再利用することで、資源循環型社会に貢献します。

また、子どもたちの知的好奇心をくすぐる国立科学博物館とのコラボレーション壁紙「Day and Night Science Museum」と、ライフスタイルに合わせて好みの形やサイズで作製可能なロールカーペットの裏面仕様「ハイブリッドバック®」の2商品において、「第18回キッズデザイン賞\*」を受賞しました。

※キッズデザイン賞…子どもや子育てに関わる社会課題解決に取り組む優れた作品を顕彰する制度



Day and Night Science Museum「DINOSAURS (恐竜)」

私たちはこれからも、企業理念に掲げる「すべての人と共に、やすらぎと希望にみちた空間を創造する。」というPurposeのもと、「誰もが明日の夢を語れる世界」の実現に向けて、多様な視点から社会課題の解決を目指す取り組みを続けてまいります。

## 株主さまアンケート結果のご報告

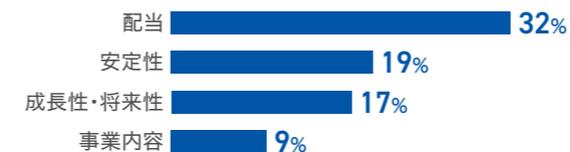
第72期中間報告書で実施したアンケートにつきまして、673名の株主の皆さまからご回答をいただきました。ご協力に心より感謝申し上げます。ここでは、アンケート集計結果の一部をご報告させていただきます。

アンケート結果の詳細はこちら▶  
<https://www.sangetsu.co.jp/company/ir/investors/dialogue.html>



#### Q.1 当社株式の取得理由

(上位4回答)



#### Q.3 興味のある情報、投資家対応活動に期待すること

(上位4回答)



#### Q.2 今後の保有方針



#### Q.4 当社へのご意見(一部)

- スペースクリエイション、スペースオペレーション事業などの展開について、分かりやすい開示を期待しています。
- 人々が快適な生活を望む限り、共に繁栄していく優良企業と思います。
- 児童養護施設のリフォーム支援は良い取り組みだと思います。
- 株主向け会社説明会がとても興味深かったので、また、開催してほしい。

#### 第73期アンケートへのご協力をお願い

株主の皆さまのご意見を今後のIR活動の参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

※WEBサイトまたは同封の返信はがきにてご回答ください。 <https://forms.gle/pmt6ESsrx1zr5Fyi8>



WEBアンケート

#### 株主さま向け会社説明会を開催

2024年7月24日、品川グランドセントラルタワーにおいて「株主さま向け会社説明会」を開催しました。当日は、社長の近藤より新社長としての抱負や2024年度の事業計画等についてご説明したほか、品川ショールームの見学会などを通じ、株主の皆さまに当社へのご理解を深めていただきました。

当社は引き続き、株主の皆さまとの交流を大切にしながら、企業価値の向上に努めてまいります。



会社説明会の様子

#### サンゲツグループ統合報告書「SANGETSU REPORT 2024」のご案内

新たな企業理念に基づき、経済価値と社会価値の実現を目指す当社グループの取り組みを冊子としてまとめています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.sangetsu.co.jp/company/ir/library/report.html>



# Joy of Design

デザインするよろこびを。



## 【表紙画像紹介】

表紙画像は、2024年3月に東京日比谷に開設した新たな価値創造拠点「PARCs Sangetsu Group Creative Hub(以下、PARCs)」です。

サンゲツグループは、空間創造に関する高い価値をグローバルに提供していく「スペースクリエーション企業」への転換を目指しています。PARCsは、この実現のために、当社グループの空間総合提案・施工機能を結集、開設したオフィスです。この新たな価値創造の場から、私たちは、今後もデザインするよろこびと感動にみちた空間を届け、より豊かでエンjoyイアブルな社会の実現に向けて取り組んでまいります。

国内デザインコンペティション受賞歴

- ・第37回日経ニューオフィス賞「関東ニューオフィス奨励賞」
- ・日本空間デザイン賞2024「サステナブル空間賞」

PARCsの詳細についてはこちら▶



<https://www.sangetsu.co.jp/information/detail/20240122120407.html>

## 株式事務についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

定時株主総会 6月

三菱UFJ信託銀行株式会社  
【同連絡先】  
東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
【同郵送先】  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法 公告掲載URL <https://www.sangetsu.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

## (ご注意)

- 1.株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 サンゲツ

〒451-8575

愛知県名古屋市区幅下1-4-1

[www.sangetsu.co.jp](http://www.sangetsu.co.jp)

設立:1953年4月21日(創業:嘉永2年※1849年)

資本金:136億1,610万円

年商:1,898億円(2024年3月期連結)

従業員数:2,994名(2024年9月30日現在)

